

春木川 WALK

スタッフ用運営マニュアル

項目	ページ
1 役割分担	2
2 準備物	4
3 基本的事項	5
4 参加規則(レギュレーション)	6
5 集合・受付シナリオ	10
6 出発セレモニーシナリオ	11
7 ゴール前ミーティングシナリオ	13
8 到着セレモニーシナリオ	14
9 ガイドシナリオ	16
10 コース概略	23

神於山保全活用推進協議会

1 役割分担

No.	区分	所属（略称）	担当	全 体 進 行	進 行 補 助	交 通 安 全 誘 導	ガ イ ド	車 両 随 行	事 務 所 常 駐	備考
1	会員	神於山保全くらぶ	田口				●			
2	〃	〃	井阪				●			
3	〃	〃	奥田				●			
4	〃	〃	村瀬			●				
5	〃	〃	兵埜			●				
6	〃	〃	大西			●				
7	〃	〃	松田			●				
8	〃	〃	山口(泰)			●				
9	〃	シャープ社友会	岡森			●				
10	〃	住友ゴム工業（株）	岡田		●					無線機(危機管理課)
11	〃	〃	山口(早)			●				
12	〃	〃	吉峯			●				
13	〃	彩り	足永			●				
14	事務局	環境保全課	重田						●	無線機(環境保全課)
15	〃	〃	北川	●						無線機(危機管理課)
16	〃	〃	亀田					●		無線機(危機管理課)
17	〃	〃	高崎			●				
18	〃	〃	前田		●					無線機(危機管理課)
19	〃	〃	杉本			●				
20	〃	〃	清水				●			
21	〃	公園緑地課	尾方			●				
22	〃	〃	竹原			●				
23	〃	都市整備課	塔筋		●					無線機(危機管理課)
24	〃	〃	今北		●					無線機(危機管理課)
25	〃	〃	藪				●			
26	〃	府 地域政策室	岡崎			●				
27	〃	府 地域政策室	吉田			●				

※魚庭の森づくり協議会、農林水産課は本体イベントに従事

班別役割分担

班	進行・進行補助	ガイド	交通安全誘導
1 班	北川・前田	清水	山口(泰) 松田 尾方
2 班	村瀬	藪	兵埜 吉田
3 班	今北	田口	岡森 杉本 足永
4 班	岡田	井阪	吉峯 山口(早) 高崎
5 班	塔筋	奥田	大西 竹原 岡崎

車両随行	亀田
事務局常駐	重田

(1)従事内容

- 先頭を1班、最後尾を5班とし、1班当たり参加者4～5名程度を担当する。
- 1班は目標時刻よりも早めに歩き、5班は目標時刻に合わせて歩く（休憩地点で時間調整）。
- 参加者は別班に移動することがあるため、両班の「進行・進行補助」は参加者の班移動を把握する。
- 「進行・進行補助」は、班内の指示、調整及び無線通信により各班等との情報連携を行う。
- 「進行・進行補助」は、全体指揮（北川）と調整のうえ、リタイアや失格を宣言し対処する。
- 1班と5班の「進行・進行補助」は、要所の通過を各班、車両随行、事務局常駐に情報共有する。
- 「交通安全誘導」は、山道の注意喚起、通行人への注意、横断歩道を渡る際の制止や誘導に専念する。
- 「ガイド」は、自然、史跡、街並みなどの説明を主とし、必要に応じて他の班員の補助をする。
- 「車両随行」は、常時無線を傍受し、なるべく隊列から近い位置への移動と停車を繰り返す。
- 「車両随行」は、進行・進行補助からの要請に応じてリタイア者を適宜の場所に搬送する。
- 「事務局常駐」は、常時無線を傍受しながら進行状況を把握し、必要に応じて各班へ情報提供する。

(2)リタイアの対応

- 負傷や遅れなどで13:30までに南海浪切ホールに到着できない見込みの者、またはリタイアを申し出た者に対して、「進行・進行補助」は全体指揮（北川）と協議のうえ「リタイア」を宣言し、次の対応を行う。
 - ・公共交通機関（無料運行バス）等を用いて13:30に南海浪切ホールに向かうことを勧める。
 - ・南海浪切ホールで無料軽食引換券（名札裏面に記載）の利用を勧める（帰宅の場合は名札回収）。
 - ※13:30までは無料軽食引換券が利用できない。
 - ・近くのバス停まで歩行することが困難または遠い場合は、「車両随行」に搬送を要請する。
 - ・バス停や公用車までの徒歩の付き添いは、交通安全誘導の担当者が対応する。

(3)失格の対応

- 違反行為を繰り返した者（最低2回は注意する）に対して、「進行・進行補助」は全体指揮（北川）と協議のうえ「失格」を宣言し、次の対応を行う。
 - ・名札（軽食引換券）を回収する。
 - ・最寄りのバス停を説明のうえ、速やかに隊列から離れることを指示し、以降は関知しない。

2 準備物

品名	数量	単位	仕様
傷害保険（スタッフ・参加者）	1	式	スタッフ・参加者計 120 名（市職員を除く）
イベント運営マニュアル	5	冊	スタッフ用予備
レギュレーション（参加規則）	20	冊	参加者用予備
イベント用名札	100	枚	表面はエントリーナンバー、 裏面はアンケート兼軽食交換券
イベント用名札ケース（緑）	2	包	購入 参加者用 50 組×2 包
イベント用名札ケース（橙）	1	包	購入 スタッフ用 50 組×1 包
のぼり	3	本	購入 「春木川 WALK」
BlueTooth スピーカー	1	台	北川私物 ラジオ体操用
拡声器	1	台	環境保全課備品 セレモニー・ミーティング用
進物交換用トレイ	2	枚	ザルなど適宜 ※魚庭の森づくり協議会から借用
写真撮影用横断幕	1	枚	※魚庭の森づくり協議会から借用
山の進物	1	式	タコツボ、イヌツゲの枝、柿、ぶどう ※協議会会員で調達
海の進物	1	式	泉ダコ、牡蠣殻土壌改良剤、魚介類（岸和田産海産物） ※魚庭の森づくり協議会から提供
海の進物 抽選用具	1	式	エントリーナンバーを書いた紙と箱
参加特典	100	式	海づくり大会関連グッズ ・森づくりタオル（開会時配布） ・海洋プラスチックゴミのボールペン ・泉だこファイルとペーパークラフト ・生き物消しゴム ・泉だこのポケットティッシュ ※魚庭の森づくり協議会から提供（内容不確定）
非常用車両	1	台	事務局公用車（ステーションワゴン）
防災無線機	7	台	※危機管理課から 6 台借用＋環境保全課分
カメラ	1	台	
救急箱	1	式	
熱中症対策用品	1	式	タオル、冷水、塩分補給食

3 基本的事項

(1)背景

- 神於山は牛滝川、春木川、津田川の水源を有する。
- 岸和田市から日本最古級(弥生時代)のタコツボが下池田遺跡(岸和田市下池田町)から発掘されており、泉州地域がタコツボ漁発祥地との説がある。
- イイダコは豊穰祈願の供物として用いられていたと考えられ、山手地域で葉を蓋にしてタコを収めたタコツボが多数見つかっている。

(2)基本コンセプト

- 山から海へ豊かさを繋ぐ春木川の沿道をウォーキングし、山から海までの連続性、資源の価値、沿道の自然環境、歴史的構造物などに触れることにより、自然、農林水産資源、歴史を「感じ・学び・守る」。
- 今回は、「歴史的背景に基づいた山と海の資源交換」を行うための参加型エコツアーリズムとして演出する。

(3)開催体制

- スタッフ 27 名(神於山保全活用推進協議会 13 名、協議会事務局 14 名)
- 参加者 28 名

(4)集合時間

- 07:30 愛彩ランドバス停前広場

(5)中止要件

- 荒天中止(小雨決行)。
- 前日 18:00 時点で荒天が予想される場合は中止する。
- 中止の場合は参加登録者と従事者へ電子メール、市ホームページで発表する。
- イベント中に想定外の荒天や災害が生じた場合は中止する。

(6)その他

- 急遽、当日欠席しなければならなくなった場合は、必ず代替要員を派遣すること。
- あらかじめ防災無線機の使用方法を習熟しておくこと。
- 参加者の安全誘導を最優先に従事すること。

10月26日(日)きしわだの集い 森・里・街・川・海のつながり

春木川WALK

第45回豊かな海づくり大会プレイベント

Regulation (参加規則)

集合日時

2025年10月26日(日) AM8:00

集合場所

南海バス停留所「道の駅愛彩ランド」前広場（愛彩ランド内）

服 装

帽子、動きやすい長袖・長ズボン、運動靴、軍手

※山中を歩くため長袖・長ズボンで虫刺され等を防止してください。

※他の者を不快にさせず、危険が及ばない範囲の仮装を認めます。ゾンビ、血のり、長時間歩行に適さない仮装（呼吸、視野、運動の支障）は認めません。

持 ち 物

補給食、飲み物、タオル、携帯電話、レインコート、常備薬

※必要に応じて着替え、虫除け薬、日焼け止め etc

※リュックサックなどの両手が空くバッグに荷物を詰めてください。

中止条件

荒天中止（小雨決行）

※前日 18:00 時点で荒天が予想される場合は、電子メール、市ホームページで中止を発表します。イベント中に想定外の荒天や災害が生じた場合は中止する場合があります。

参加特典

参加者には参加特典とゴール地点での軽食交換券があります。

※失格者を除く

留意事項

集合には公共交通機関(南海ウイングバス)をご利用ください。

本イベントは南海浪切ホールで現地解散します。帰路の交通手段は岸和田駅周辺から公共交通機関を使うなど各自で確保してください。

主催・問合せ

主 催 神於山保全活用推進協議会
問合せ 岸和田市 環境農林水産部 環境保全課
(神於山保全活用推進協議会事務局)
TEL 072-423-9463



条 項

1 参加資格

- (1) イベント当日時点 18 歳以上で、健康上の問題がない方。(持病者・薬服用者は医師の同意を得ること)
- (2) イベント当日時点 18 歳未満で、保護者と全行程を同行する方。(リタイアする場合、本人と保護者は同時リタイアとします。)
- (3) 歩行時に障がいがある場合、介助者と全行程を同行する方。(リタイアする場合、本人と介助者は同時リタイアとします。介助者は参加者本人が確保して下さい。)

2 参加登録に関する留意事項

- (1) 氏名等の旧字体を新字体に変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- (2) 参加中の自己責任を明確にするため、誓約事項に同意し、署名された方のみ参加できます。
- (3) 同一人物による申込が複数あっても 1 件の申込とみなします。
- (4) 年齢、性別、記録等の虚偽報告、登録者本人以外の参加(不正出場)は認めません。
- (5) 参加登録内容に疑義がある場合、事務局からご連絡先のメールアドレスもしくは電話番号宛に問い合わせをさせていただきます場合があります。
- (6) 参加登録内容の変更またはキャンセルをされる場合は必ず直接事務局にメールまたは電話でご連絡ください。

3 基本事項

- (1) 参加者はイベントを円滑かつ安全に開催するために、主催者の定める参加規則の各条項、交通規制、マナー、主催者の指示などを遵守してください。
- (2) 参加者が安全な歩行が困難と判断した場合は、主催者による判断で参加をお断りする場合があります。
- (3) 参加者は主催者の負担により傷害保険に加入します。イベント開催中の事故、傷害等への補償はこの保険の範囲内になり疾病等には適用されません。自己の責任において十分な健康状態のもとイベントに参加ください。
- (4) 代理参加、参加権利の譲渡はできません。こうした行為が判明した場合は主催者の判断により失格とさせていただきます。
- (5) 主催者は制限時間内にゴールへ到着できないと判断した参加者に対し、制限時間内でもリタイアさせることができます。
- (6) 主催者は、ルールやマナーを守らず、嚴重な注意を無視し、イベント運営に著しく支障をきたす参加者を失格とし、イベントに参加させないことができます(例えば、決められた位置に集合しない場合や、独断で隊列を離れた者、道路交通法違反者、マナー違反者、途中からの飛び入り、危険な行為や近隣住民にご迷惑をかける行為など)。
- (7) 主催者は個人情報保護法令を厳守し、申込者の個人情報はイベント運営に関する業務、参加登録、問い合わせ、必要に応じた送付物以外に申込者の許可なく使用しません。

4 禁止事項

- (1) 次の各項目を禁止事項とし、該当する場合は主催者の判断で失格を指示することがあります。
 - ① 事務局への虚偽申告、保護者同伴のない 18 歳未満の参加、その他主催者のイベント運営を阻害する行為
 - ② 参加者でない者との同行、ペットの同行、主催者の指示・了承に基づかないコースアウト、その他主催者がイベント運営上危険または不適切と判断する歩行
 - ③ 交通ルールの違反、私有地への無断進入、工作物・設置物・農作物等の破壊、大声の会話・喧噪・騒乱等の近隣住民にご迷惑がかかる行為、喧嘩、その他主催者がイベント運営上危険または不適切と判断する行為

5 事前準備

- (1) 春木川 WALK を思う存分楽しむために、事前の準備はしっかり行いましょう。
- (2) ゴール（南海浪切ホール）から帰宅のための送迎車両等はありません。最寄りの南海本線岸和田駅まで徒歩で向かい、公共交通機関等を用いて参加者自ら確保する手段で帰宅してください。
- (3) 長距離を歩くため、普段履き慣れた靴で歩くことが大切です。イベント開催の数週間前から靴は準備して足に慣らしておきましょう。
- (4) 週末など時間がある日には、やや長めの距離をゆっくり歩いてみるなどして事前にトレーニングをしておくとう信につながります。
- (5) ウォーキングのトレーニングに出る前には、必ず準備運動のストレッチをしましょう。

6 開催直前の過ごし方

- (1) 暴飲暴食を避け、日頃からコンディションを整えておきましょう。
- (2) イベントの前日は体調を整える程度の軽いウォーキングをするに留め、後は十分に睡眠をとっておきます。
- (3) 万一の場合に備え、靴擦れした場合の絆創膏、常備薬などを用意しておくとう気持ちに余裕ができます。

7 イベント開催中の留意事項

- (1) 必ず交通ルール・マナーや店舗・公園等の施設利用ルールを遵守してください。
- (2) 他の人と競い合わず、周りの景色や会話、スタッフによるポイントガイドを楽しみましょう。
- (3) 十分に体調を管理した上でスタートし、体調に異変を感じたら、無理せずリタイアを申し出てください。
- (4) イベント中の事故については主催者が可能な範囲の応急処置は行いますが、それ以外の責任は一切負いかねます。
(主催者で傷害保険に加入しますが、内科疾患などによる入院については、保険は適用されませんのでご了承ください。イベント中の事故等につきましては、その保険の適用範囲のみとさせていただきますのでご了承下さい。)
- (5) 歩行に困難な障がいをお持ちの方は介助者を伴うこととし、必ず両者一緒に参加のうえ、リタイアする場合は同時リタイアとなりますので行動を共にしてください。参加者の身体的リスクや行程の安全確保に懸念がある場合、参加を認めない場合やスタート後のリタイアを指示する場合があります。
- (6) 歩行に障がいがある方は、神於山国見の森広場に向かわず南海バス停留所「道の駅愛彩ランド」で待機していただき、後刻、他の参加者と合流していただきます（集合時刻・合流時刻等は参加登録後に主催者と調整）。
- (7) 貴重品や手荷物等は各自の保管責任とし、主催者は一切責任を負いません。
- (8) 水分補給をこまめに行うため水筒やペットボトルを携帯しましょう。
- (9) 万一、歩いている途中で体調不良や気分が悪くなった場合には無理をせず、すぐに中断しスタッフに知らせてください。

8 リタイアと失格

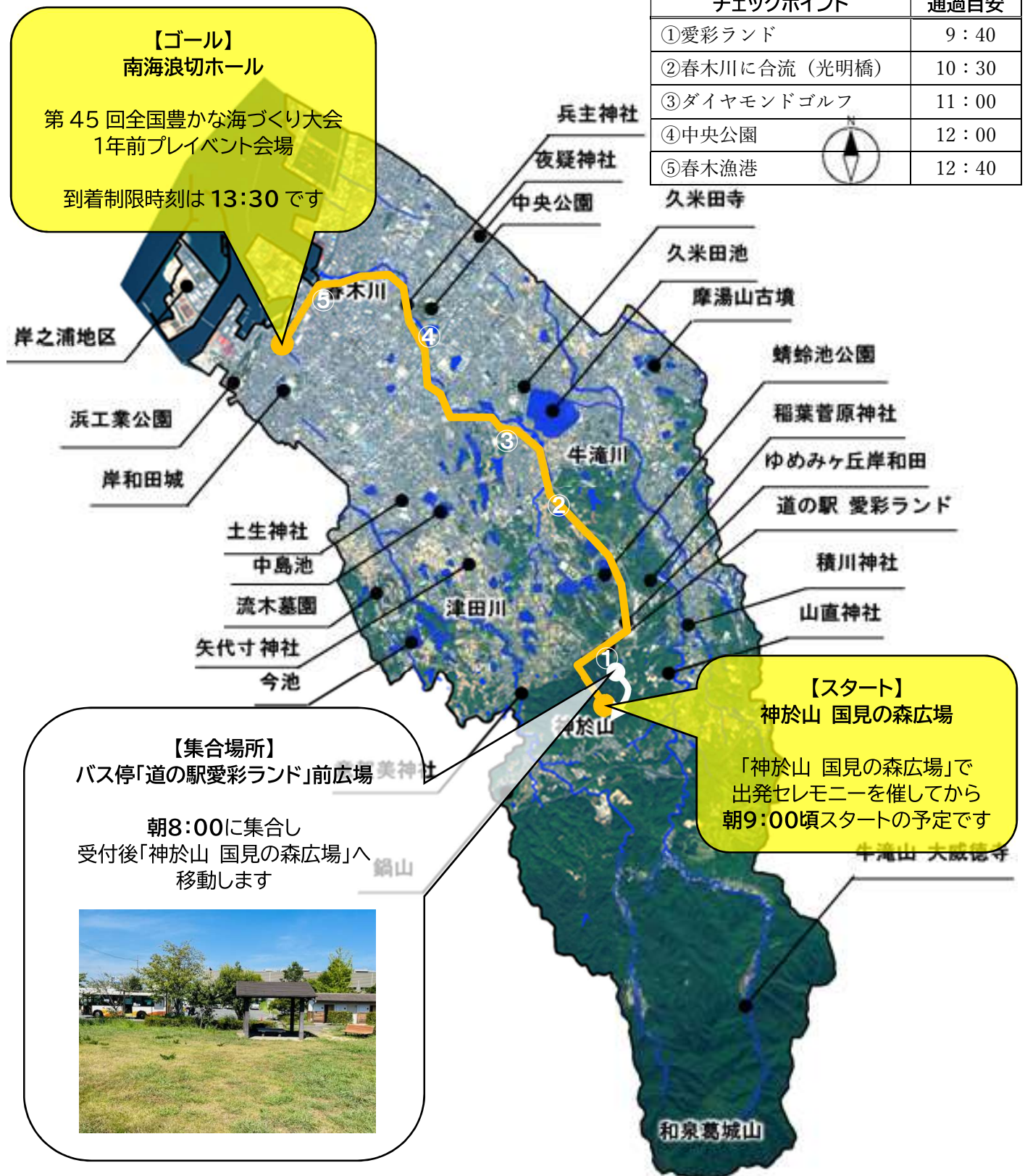
- (1) 参加者本人の申し出または主催者の判断により、やむを得ずイベントから途中離脱することを「リタイア」とします。リタイアされた方には主催者が安全な場所まで誘導し、参加記念品をお渡しします。
- (2) 参加者の意思を問わず、主催者の判断によりイベントへの継続参加を認めず、強制的にその場で途中離脱させることを「失格」とします。失格者には参加記念品をお渡ししません。
- (3) リタイアまたは失格した参加者は、最寄りの停留所からのバスの利用、タクシーの利用、ご家族等のお迎えなどにより帰路に付いてください。主催者による送迎はできかねます。

9 イベント終了後の留意事項

- (1) リタイア、失格及びイベントの終了後は、主催者は一切の責任を負いかねます。
- (2) イベント終了後は必ずクールダウンのストレッチを入念に行ってください。
- (3) 帰宅後はゆっくりと入浴したり、足をマッサージしたりして身体を十分に休ませてください。

- (1) 「海沿いの人たちに 山の資源を届ける」が今回のウォーキングミッションです。
- (2) 集合場所で参加受付を行った後、神於山を登り、国見の森広場で出発セレモニーを行います。
- (3) スタート直後は春木川の源である石谷川に沿って細い山道を歩きますので、足元に十分ご注意ください。
- (4) イベント中、スタッフが主な街、史跡、自然などの説明（ポイントガイド）を行います。
- (5) 歩くごとに景色が変わっていく春木川沿道の自然と街並みをお楽しみください。
- (6) 途中5ヶ所で休憩を兼ねた隊列調整を予定しています。
- (7) ゴールの南海浪切ホール（祭りの広場）で漁師さんと到着セレモニーを行って終了（解散）です。

チェックポイント	通過目安
①愛彩ランド	9：40
②春木川に合流（光明橋）	10：30
③ダイヤモンドゴルフ	11：00
④中央公園	12：00
⑤春木漁港	12：40



5 集合・受付 シナリオ(愛彩ランド芝生広場)

時刻	担当	内容(発言)
7:30		【スタッフ集合・受付開始】 ●のぼり 1 本準備（残り 2 本は公用車に保管） ●参加規則をあらかじめ読んで承諾してくれてるか確認（不承諾は参加不可） ●名簿をチェックし、「名札」を渡す ●スタッフ 2～3 名は「車両随行」に同乗して国見の森広場へ先回り。
		【国見の森広場先行スタッフ】(国見の森広場にて) ●山の進物を参加者に見せるよう東屋にセッティング ●参加特典、特製タオル、コース概略（3 点 1 包）を配布準備 ●横断幕使用準備 ●ノボリ 1 本設置
8:00	北川	【参加者集合時間】【司会挨拶】 ●皆様おはようございます。本日は朝早くから「春木川 WALK」にご参加くださりありがとうございます。岸和田市環境保全課（事務局）の北川です。 ●「春木川 WALK」は春木川の源流がある神於山から、川沿いに海まで歩きながら岸和田の自然や歴史に触れるイベントです。 ●あらかじめレギュレーション（参加規則）をご覧いただいていると思いますが、かなり体力の必要なプログラムですので、ケガのございませんよう、また無理のございませんよう、よろしくお願いいたします。 ●では、このイベントの主催者であります神於山保全活用推進協議会 会長からご挨拶を申し上げます。
	会長	【会長挨拶】 ～会長から任意の挨拶～
	北川	【注意事項説明(簡易)】 ●ありがとうございました。 ●イベントのスタート地点は神於山の上、国見の森広場です。 ●国見の森広場まで 20 分あまり山道を歩きます。準備運動と体調確認を兼ねています。では、準備運動を行います。
	北川	【準備運動】 ラジオ体操第 2
8:15	北川	【出発】 ●山では 1 列になって、木の根やツルに足をひっかけないようご注意ください。 ●小石や泥で足が滑りやすいことにもご注意ください。 ●では、国見の森広場に向かいます。遅れないよう付いてきてください。

6 出発セレモニー シナリオ（国見の森広場）

時刻	担当	内容(発言)
8:40	前田	【人数&体調チェック・特製タオル配布】 ●国見の森広場に到着した方の到着チェック ●体調に問題がないか1人ずつ聞き取り（体調不良者はリタイア） ●参加特典、特製タオル、コース概略（3点1包）を渡す
	北川	【注意事項説明(詳細)】 ●体調に問題はありませんか。 ●イベント趣旨説明（第45回全国豊かな海づくり大会プレイベント） 「山の進物を海の漁師さんに届ける」がテーマ（進物紹介） ●注意事項 「コース概略」のとおり、春木川の水源を見てから、川沿いに海に向かって歩きます。必ずスタッフと一緒に指示に従って歩いてください。 神於山から尾生町あたりまでは安全上の配慮で春木川から離れます。 およそ1時間に1回程度、10分の休憩を挟みます。 13:30に南海浪切ホールに到着し、到着セレモニーのあと現地解散。 トイレがあまりありませんので、ある場所で済ませておくように。 やむを得ずコンビニのトイレを借りるときは商品購入のご配慮を。 スタッフは5班に分かれて移動します。先頭が1班、最後尾が5班です。 1班は目標時刻より早めに歩きます。5班は目標時刻に合わせて歩きます。 ご自身のペースに合わせてどの班に付くか変えていただいて結構です。 5班と歩いていくのもきついようでしたら、無理せずリタイアしてください。 スタッフからリタイアを宣告する場合があります。 リタイアされた場合は、無料バスで浪切ホールに向かい、無料軽食交換券を使って到着をお待ちください。（帰宅もOKですが名札の返却を） スタッフの注意に従っていただけない場合は「失格」を宣告します。 失格の場合は名札を返却のうえ、すぐに隊列から離れていただきます。 到着セレモニーで3～4名の方に登壇していただきます。後で決めます。 到着セレモニーでは、漁師さんから「海の進物」が送られます。（内容不明） 全員分はありませんので、春木漁協でのゴール前ミーティングで抽選会を行います。 ゴール後、名札は軽食引き換えの際に回収します。 軽食と引き換えない場合は、スタッフに名札を返却してください。 ●神於山山中の注意事項 虫がいます、首元・襟元をふさぎ、肌を露出しないように。 細く、すべりやすく、つまづきやすい山道です。転落の危険もあります。 1列になって足下に注意しながら歩いてください。 前後の人と接近しすぎないように。転倒した場合に周りが巻き込まれます。

時刻	担当	内容(発言)
		●ご質問はございませんか。 ●では、スタートの記念写真を撮影しましょう。
	清水	【集合写真撮影】 ※海づくり大会横断幕・特製タオル使用 ●映りたくない人は退避を勧奨、記念写真は後日メールで送付します。
9:00	会長	【スタート宣言】 「それでは、無理をせず楽しみながら海まで歩きましょう！ 春木川 WALK スタートします！」 ※スタッフ拍手
	亀田	【出発セレモニー 撤収】 出発セレモニーで用いた資材等を公用車に積込（ノボリも）。 3号園路出口のみかん小屋に先回りして待機。 隊列と合流したら1班と5班にノボリを渡す（予備1本は公用車に保管）。

7 ゴール前ミーティング シナリオ（春木漁港）

時刻	担当	内容(発言)
12:50	—	【時間調整】 ●12:50 まで休憩しながら時間調整。 ●この間に名札裏のアンケート欄に記入を促す。 ●「車両随行」は、山の進物提供準備、春木漁協内駐車場にて待機
	北川	【到着セレモニー・解散に関する説明】 ●この先 15 分程度でゴールの南海浪切ホールです。 ●会場周辺は混雑していますので、ここで説明させていただきます。 ●南海浪切ホールに着いたらまっすぐステージ前まで向かいます。 ●会長と海の進物を受け取れる方はステージにあがってください。 ●その他の方は到着セレモニーをご観覧ください。 ●到着セレモニーの終了を以って、春木川 WALK は現地解散です。 ●名札の裏が無料軽食引換券になっています。 ●ステージ横のブースで軽食と名札を引き換えてください。 ●軽食と引き換えない方は、お近くのスタッフに名札をご返却ください。
	前田	【海の進物 受領者抽選】 ●到着セレモニーで漁師さんから贈られる海の進物の抽選会を行います。 【抽選実施】 ●進物は受け取れませんが、他にステージへの登壇を希望する方はいらっしゃいませんか。（任意で登壇者追加）
	清水	【記念撮影】 ※海づくり大会横断幕使用 ●横断幕、特製タオルを持って記念撮影 ●撮影した写真は後日、メールでお送りします。
13:12	北川	【出発】 ●では、ゴールへ向かいます。 ●会長と進物受領者は 1 班とともに先頭を歩いてください。 ※1班は山の進物を抱えて歩く

8 到着セレモニー シナリオ（南海浪切ホール）

※ 主なナレーションのみ例示いたしますので、司会者さんのアレンジでご発言と進行をお願いします。

時刻	担当	内容(発言)
13:28	司会	【到着アナウンス・春木川 WALK 説明・紹介（到着直前から登壇まで）】 （13：30 にステージから姿が見えるよう調整しながら進む予定です。） ●本日は「春木川 WALK」が開催されています。 ●「春木川 WALK」は、「美しい海は、美しい山から」という考えを象徴する参加型エコツーリズムイベントです。 ●主催は「神於山保全活用推進協議会」。愛彩ランドの近くの「神於山」を整備して、美しく楽しい里山づくりに取り組んでいる団体です。 ●神於山には岸和田市内を流れる春木川の水源があります。 ●今朝 8 時から約 50 名の集団が神於山から春木川に沿って、市内の自然や歴史を学びながら歩いてこの会場に向かって来られています。 ●間もなく到着です。その距離およそ 12km。元気な姿で到着されるのか、ヘトヘトになっているのか。 ●大阪府内の漁師さんは、大切な海を守るために日頃から山の整備にも携わっておられます。「大阪府漁民(ギョミン)の森“魚庭(ナヅ)の森づくり”協議会」として、もちろん神於山も整備されています。 ●海を守るための漁師さんの努力を皆さんにも知って欲しいと思います。 ●岸和田市の下池田遺跡では、日本最古（弥生時代）のタコツボが発掘されていることから、この泉州地域はタコツボ漁発祥の地ではないかと考えられています。 ●イイダコのタコツボは、葉っぱで蓋をした状態で山手地域から多数発掘されています。山手地域の豊穰祈願のためイイダコとタコツボが使われていたのではないかと考えられています。 ●今日、「春木川 WALK」で歩いて来られる皆さんは、発掘された弥生時代のものと同じ素焼きのタコツボを製作され、山の作物と一緒に漁師さんへの感謝を込めて贈られるそうです。 【姿が見えたら】 ●「春木川 WALK」のご一行が見えてまいりました。 ●「春木川 WALK」と書かれたノボリを掲げてステージに向かわれます。 ●皆さん、拍手でお迎えください。
		【春木川 WALK 一行にインタビュー（登壇後）】 ●春木川 WALK ご参加の皆さんお疲れ様でした。一部の方にだけステージ

時刻	担当	内容(発言)
		に上がってもらっています。 【以下、質問案】 ●代表の方（田口会長）はどちらですか。一言お願いできますか。 ●春木川沿いの色んなことを学びながら歩いて来られたとのことですが、何が印象に残っていますか。 ●今回はプレイベントということで来年も「春木川 WALK」が開催されるようですが、来年も参加したいですか。 ●足は大丈夫ですか。 ●今のお気持ちはいかがですか。
		【山と海の資源交換】 ●「春木川 WALK」のご一行は、漁師さんへ日頃の感謝を込めて、山の作物や素焼きのタコツボを持って来られました。内容を紹介してもらえますか。 【田口会長による山の進物の紹介】 ●実は、漁師さんからも岸和田近海で取れた海産物のお返しがあるそうです。内容を紹介していただけますか。 【漁師（代表）による海の進物の紹介】 ●では、山の進物と海の進物を交換していただきましょう。 【田口会長と漁師（代表）へ進物交換】 ●春木川 WALK の皆さんは神於山からおよそ 12km を歩いて、無事に山の進物を漁師さんに届けることができました。皆さん拍手をお願いします。
		【田口会長・漁師(代表)ヘインタビュー】 ●それぞれ受け取りになられてご感想はいかがですか。 ●いただいた進物はどんなふうに使いたいですか。 ●それぞれ、海と山をどんなふうに守っていきたいですか。
13:50		【締めのアナウンス】 ●「春木川 WALK」は無事にミッションを達成されました。 ●「春木川 WALK」の到着セレモニーは以上でございます。ご一行の皆さん、お疲れさまでした。もう一度大きな拍手をお願いいたします。

9 ガイドシナリオ

目標時刻	ガイド内容
09:10	●石谷川 ・春木川の水源になっている。 ・神於山から石谷川～轟川～加守川～春木川と名を変えながら海に注ぐ。 ・水源付近では日本固有種である「タゴガエル」が生息している。 ・タゴガエルは、茶色く、小さく、かわいらしい。
09:26	●みかん貯蔵庫 ・2階にも出入口がある特徴的な建物。 ・庫内でみかんを熟成させてから出荷する。 ・庫内の湿気を抜く地中の配管が備わっている。 ・蔵造りの貯蔵庫は貴重で特徴的な建築物であり、研究が進められている。 ・特徴的な構造は和歌山県の下津から伝わったのではないかと推察。
09:40	●道の駅愛彩ランド ・2011年開業。道の駅、直売所、交流施設、レストラン、加工所で構成。 ・直売所はJ Aいずみの、道の駅は岸和田市が管理運営。 ・直売所建設予定時は「有名特産品が少ないから栄えない」との批判も。 ・開業すると「何でも揃う」と好評で、府内トップ売上のJ A直売所に。
09:53	●近畿職業能力開発大学校 ・1990年に「大阪職業訓練短期大学校」として創立。 ・ものづくりの専門家を育てる学校。校内に学生寮も完備。 ・機械、電気、電子情報、建築の学科を有する。
10:00	●ゆめみヶ丘岸和田（岸の丘町） ・「ゆめみヶ丘岸和田」は公募で選ばれた地域の愛称。地区面積159ha。 ・大規模な開発計画があったが、平成初期に計画が頓挫。 ・未利用地の有効活用を目指して平成26年から着工。今年完了。 ・住宅・商業・工業・農業・自然のエリアが併存する全国的にも珍しい地域。 ・未利用時期に繁殖した竹を用いたアドベンチャーワールドとの取組「パンダバンブープロジェクト」の岸和田における中心地。 ・アドベンチャーワールドのパンダは中国に帰還したが、「パンダバンブープロジェクト」は竹の利活用の取組であり、引き続き推進している。
	●「尾生」の地名 ・地名辞典によると未熟な土地・湿地を「ウブ」と呼ぶ。

目標時刻	ガイド内容
	・大阪府全志に西暦 804 年 10 月の項に書かれる「藺生野（イブノ）」がこの付近のことではないかといわれている。 ・ウブ→藺生(イブ)→苧生（オヅ）→尾生と転じたものだという。
	●「福田」の地名 ・久米田寺文書に書かれる「吹井の里」が転訛したものと思われる。 ・地名辞典によると、「ふく（福・吹く）は炭火を吹くにちなんで鍛冶をいう。 ・久米田池築造当時、行基の配下にあった鍛冶部門がこの地に住んでいた。 ・鍛冶集団が住んだ「吹井の里」が後に「福田」となったと考えられる。
	●水道道（すいどうみち） ・大阪広域水道企業団の大口径水道管が大阪市内の配水場から南に向かって地中を通っていることからこの名で呼ばれている。府内水道の大動脈。
10:33	●光明橋 ・これより 550m 南西に光明谷という小字名があり、光明池という池もある。
	●轟川 ・白河上皇（1086 年～）が熊野詣での休憩中、積川神社に立ち寄った。 ・鳥居に掲げられた看板の字が下手だったため、「私を書こう」と筆を取った。 ・筆を執った途端、稲妻と共に激しい雷鳴が轟いた。 ・この雷鳴の轟いた方角の川に「轟川」と名付けた。
10:35	●尾生橋
	●平安橋 ・由来が定かでないが、石柱の文字の摩耗から古い橋と思われる。
	●東谷橋
10:55	●久米田池 ・天正 10 年（738 年）完成。広さ 45.6ha、周囲 2.6km、貯水量 157 万 t。 ・行基が久米田池築堤中に、神於山の宝勝権現に雨乞い祈願をしたことが神於寺縁起にも記載されている。 ・和泉葛城山、神於山、久米田池の一連は昔から雨乞い信仰がある「竜の道」。 ・「火消地蔵」、「とよの話」、「酢壺池の話」等の伝説がある。 ・池の水は牛滝川の追橋のたもとから流入するが、古地図では轟川から久米田池へ流入していたことが記されている。
	●火消地蔵 ・行基が久米田池を掘るとき、まわりの村々の娘たちが接待の競争をした。 ・工事が終わったとき、競争に勝った村の娘に行基は褒美には何が欲しいか

目標時刻	ガイド内容
	聞いた。 ・娘は「この池が欲しい」といった。 ・行基は「それは困る、やるわけにはいかん。」というとな娘は池にとびこんで大蛇になった。(=水利権を取った) ・負けた村の娘たちは怒って火の玉になり、行基堂を焼討ちしようと土手を転がっていった。 ・村の人たちは行基堂を守るため、お地蔵様を祀って火の玉を追い払った。 ・お地蔵様は、今も久米田寺の山門の前に「火消し地蔵」として残っている。
	●とよの話 ・行基が久米田池を掘るとき、各地から職人が集められた。 ・大勢の職人の食事やお茶の世話をする人が見つからなかった。 ・職人たちは「とよさんに世話してもらえたら頑張れる。」と望んだ。 ・とよは田治米村の与兵衛という大金持ちの娘で、美しく気立てが良い。 ・行基がとよに職人の世話を頼むと、とよは「村のために」と引き受けた。 ・とよは朝から晩まで職人の世話を完成するまでの14年間懸命に続けた。 ・池が完成した時、とよはその後の人生をどうすれば良いか思い悩んだ。 ・行基はとよに褒美を与えようと望みを聞いたが、とよは何も望まなかった。 ・繰り返し聞くと「この池をください。この池を後々まで守ります」と答えた。 ・答えた途端、とよの口は耳まで裂け、大蛇になって池の底に潜った。 ・その後、周囲の池が枯れても久米田池だけは枯れることがなかった。
	●酢壺池の話 ・山直下村の惣平は真面目な飛脚で皆から信頼されていた。 ・仕事の最中、取石池（トロス池 高石市）でモヤの中から老人が現れた。 ・老人は「この手紙を久米田池の主へ届けよ。中は絶対に見るな。」と託した。 ・久米田池まで来た惣平は、怯えながら久米田池の傍で躊躇していた。 ・通りがかった僧侶が惣平の様子を不審に思い、事情を尋ねた。 ・僧侶の説得で見せた手紙には「この若者を食べ。」と書かれていた。 ・僧侶に書き替えてもらった手紙を持って惣平は久米田池の主を呼んだ。 ・主は美しい姫で、「真面目なこの男に褒美を」と書き換わった手紙を読んだ。 ・姫は惣平を池の底の宮殿に招待し、惣平は宮殿で3日間もてなされた。 ・帰り際、惣平は姫から無限に酢が出てくる壺を土産にもらった。 ・姫は「酢壺の中はぜったいに覗いてはいけません。」と忠告した。 ・地上に出てくると3年が経過しており、家は貧乏になっていた。

目標時刻	ガイド内容
	・惣平は酢壺の酢で商売を始め、大儲けした。 ・数年後、壺の中から物音がしたので、惣平は中を覗いてしまった。 ・壺の中には白蛇がいたが「約束をやぶりましたね、さようなら。」と去った。 ・その後、壺から酢が出ることはなくなった。 ・後悔した惣平は池に壺を投げ入れ、後悔と感謝の気持ちで池に祈った。 ・酢壺を投げ入れた池は、三田町（小倉台）のスッポ池ではないかという説。 ・現在、取石池は埋立てられて跡地に石碑が立っている。
	●報恩橋
11:24	●春木川緑道案内板
	●上轟橋 ・額原付近は「轟の里」と呼ばれていた。今も轟井堰・轟川・轟橋の名が残る。 ・轟とは水音の響く所を指す「滝」の意味。昔は水音が激しかったと思われる。
	●小栗街道 ・「熊野街道」は別名「小栗街道」ともいう。 ・小栗判官は相模の国で妻の一族に毒殺されたが、閻魔大王は「熊野の温泉に入れてやれ」と命令した。 ・小栗判官は耳も聞えず、目も見えず、口もきけない身体になっていた。 ・判官は台車に乗せられ、「この台車を曳けばご利益がある」と書いた札を付けられた。 ・判官は沿道の人々の力で熊野に曳かれていった。 ・判官は熊野本宮の湯で再生し、最終的に仇を討って照手姫と結ばれた。 ・その後、小栗街道とよばれるようになった。
	●下轟橋 ・この橋のところに上湯井堰がある。
	●小谷原橋 ・「小谷」と「原」の小字の境につくられたためこの名がついたと思われる。 ・この橋から永守橋までが「加守川」になる。 (橋には春木川と書かれている。)
	●上森池橋 ・周辺の区画整理前に「森池」という池があった。 ・森池という小字名があった上手に当たるためこの名がついたと推察。
11:50	●森池橋 ・橋の下に水位監視カメラがあり、一定水位を超えると警報を発する。

目標時刻	ガイド内容
	 大阪府河川防災情報（春木川 森池橋）
11:54	●額橋
11:57	●八木橋 ・西之内は八木郷ではなく加守郷なのになぜ「八木橋」と名付いたか不明。 ・この地の「八木」の名は歴史が古く、延喜式神名帳（西暦 927 年）には「夜疑(ヤギ)神社」、和名類聚抄（西暦 931～938 年）には「八木郷」の名が見られる。
12:00	●中央公園 ・1978 年開園。開園前は戦前の関西では代表的な「春木競馬場」だった。 ・日本の都市公園 100 選に選定されている。 ・岸和田市最初の小学校である「旧岸和田村尋常小学校校舎」を復元して置いている。 ・日本唯一のフィーエルヤッペン競技場がある。 ・市のネーミングライツ事業により、現在は「まなび中央公園」と呼称。
12:00	●みどり橋
12:11	●兵主神社 ・創建時期不明だが西暦 927 年の書物にすでに名が見られる掃守郷の総社。 ・12 の村（西之内・加守・春木・野村・沼・藤井・別所・上松・下松・額原・尾生・包近）の氏神。 ・天照皇大神、八幡大神、菅原道真公などを祀っている。 ・天正年間（1573 年～1593 年）に火災に遭っている。 ・昔の境内は非常に広く、一の鳥居は藤井町、二の鳥居は加守町にあった。 ・戦時中は武運を祈る人々が大勢参詣した。 ・俗に「大宮」と呼ばれていたため「和泉大宮駅」が新設されたといわれる。 ・雨乞い踊りで使われた能面が社宝として保管されている。
	●蛇渕 ・かつて雨乞いに使われた兵主神社内の池。 ・蛇渕と久米田池の底はつながっているとの言い伝えがある。 ・蛇渕の雄大蛇が久米田池の雌大蛇のもとへ毎夜通ったという伝説が残る。 ・冬に久米田池が干上がる間、久米田池の雌大蛇は蛇渕を訪れていたとも。

目標時刻	ガイド内容
12:11	●大宮橋 ・兵主神社はかつて「大宮」と呼んで親しまれたことから名付いた。
12:14	●兵主橋 ・「ヒョウズ」は民俗学者、宮本常一氏によれば河童の別名「ヒョウベ」。 ・カップと同じく水と縁深いことを現している。
12:18	●下大宮橋 ・大宮橋の下手にあるので下大宮橋。
12:19	●加守歩道橋
	●新加守橋
	●加守 ・加守は「掃守」・「掃部」とも書かれる。 ・はじめは「カニモリ」と呼ばれ、後に「カモリ」と呼ばれた。 ・古代に「掃守首」という氏族の住居した場所（掃部角麻呂(カニモリノヌマロ)等）。 ・掃守首が住居した八尾市内にも「掃守郷」の名があった（現在の八尾市南高安）。 ・泉州志によると加守郷は加守村だけでなく、東は磯の上・春木、西は沼・岸和田、南は額原・尾生・土生・土生滝まで含む広大な郷だった。 ・中世には包近も兵主神社を氏神としたことがあった。
12:21	●トロッコ道跡 ・明治から昭和に大阪窯業岸和田工場が粘土運搬に使ったトロッコ軌道跡。 ・当時は岸和田煉瓦株式会社と粘土の取り合いで激しい競争をしていた。 ・古い地図によると、岸和田コーポラスから加守町内を通り、中央公園前～荒木町、下池田町、阪和線を越えて東大路町辺りまでつながっていた。 ・トンネルをくぐって南海本線を越えることができる。
12:21	●加守橋
12:26	●春木橋
	●春木 ・昔の春木は「里」と呼んで南海本線春木駅付近にあった。 ・今の春木本町・春木元町を「くら橋部の里」呼び、合併して「春木」になった。 ・当時、駅下がりの道より西側は加守の飛び地「南春木」と呼んだ。 ・明治の頃、加守川以东も春木に編入されて現在に至る。 ・和泉市の山間部にある春木を「山春木」、岸和田の春木を「里春木」という習わしがあった。

目標時刻	ガイド内容
12:31	●六蓮橋 ・元々、この橋は6艘の船をつないで作る船橋だった。 ・川の中に杭を打ち、縄で船を繋ぎ、船と船の間を板で繋いで人が渡った。 ・敵から攻められた時は縄を切って橋を失わせ、敵の侵攻を防いだ。
12:35	●永守橋 ・この辺りまでを「加守川」、この先を「春木川」と呼ぶ。
	●紀州街道 ・元和元年（1615年）大阪夏の陣の後、徳川幕府が参勤交代の制度を定めた際の街道整備のときに作られた。
12:40	●新春木橋 ・春木川を跨ぐ大阪臨海線の橋。
	●岸和田の海 ・90年前は海岸線に松が生い茂り、砂浜が延々と伸びる海岸だった。 ・90年前の海中はアマモが生い茂り、海洋生物が豊かに生息していた。
12:48	●春木漁港 ・春木漁業協同組合の拠点。 ・シラス、イカナゴ、タコ、ワタリガニ、イワシ、アナゴ、アジ、カレイ等が水揚げされている。 ・近年はカキの養殖にも注力しており、「フライングオイスター」の名で販売されている。 ・カキ養殖を行うイカダに放置竹林の竹を用いたり、カキ殻を粉碎した土壌改良剤の利用促進に取り組むなど環境意識が高く、資源管理型漁業によるサーキュラーエコノミー（資源循環）を実践している。 ・鳥羽一郎の演歌「泉州春木港」はこの港を歌ったものであり、敷地内の戎神社横に歌碑が立てられている。 ・単なる水揚げだけでなく、加工・販売も行われている。
13:17	●臨海緑地 ・昭和39年にこの公園が作られた。 ・平成29年、大阪鉄鋼金属団地協同組合から設立50周年記念でモニュメントが寄付された。

●春木川WALK コース概略

通行路	目標時刻	通過橋梁 または交差点	信号	イベント・沿道スポット	WC	備考
集合場所	8:00			【待ち合わせ・受付】 愛彩ランドバス停	○	出欠チェック・名札（兼アンケート）・コース概略交付 2～3名のスタッフは国見の森広場へ先行
出発地点へ移動	8:15 8:40			神於山		林道～1号園路を通して国見の森広場まで移動（雨天の場合は林道を通る） 出発地点まで所要時間20～25分
出発地点	8:40 9:00			【出発セレモニー】 国見の森広場		8:30到着 9:00出発 ※雨天の場合は作業小屋で開催、林道を通して愛彩ランドへ 【詳細は出発セレモニーシナリオ参照】
林道神於山線	9:05			作業小屋	○	用便勸奨
3号園路	9:13	3号園路始点				足下注意、肌露出禁止
北阪町内道路	9:26	3号園路終点		柑橘貯蔵庫		愛彩ランド方面へ右折
国道170号	9:28	北阪2号	●●●●			愛彩ランド方面へ右折
〃	9:40 9:50		●●●●	【休憩・合流】 愛彩ランド	○	歩行困難者合流、待機スタッフ合流 10分間休憩、体調確認、用便勸奨、飲料補充
給食センター前道路	9:53	交差点（無名）		近畿職業能力開発大学校		岸和田中央線へ左折、大学敷地通路を通行
岸和田中央線	10:00	交差点（無名）	●●●●	ファミリーマートゆめみヶ丘岸和田店	○	用便再勸奨（この先長くトイレ少ない）
〃	10:12	交差点（無名）	●●●●	岸の丘町北端		この区間、スタッフと参加者とのコミュニケーションを図る
〃	10:30	交差点（無名）	●●●●	ローソン岸和田尾生町店	○	包近流木線（水道道）を横断、用便勸奨、大阪側へ渡る
春木川緑道	10:33	光明橋		春木川（合流）		光明橋の手前で右折（右岸通行）、春木川緑道へ
〃		尾生橋				
〃	10:36 10:46			【休憩】 尾生久米田第6公園		10分間休憩
〃		平安橋				
〃		陽代橋				
〃	10:55	平寿橋		久米田池		
〃	10:57	東谷橋		桜台保育所		ここから左岸通行
〃	11:05 11:15			【休憩】 ダイヤモンドゴルフ		10分間休憩（ダイヤモンドゴルフ裏公園にて） 用便希望者はセブンイレブンへ直行、緑道案内板前で待ち合わせ
〃		報恩橋				
〃				セブンイレブン岸和田下松店	○	下松駅方向へ右折
〃	11:24			春木川緑道案内板		春木川緑道案内板あり
〃		上轟橋	●●●●			府道30号 大阪和泉南線を横断、右岸通行

通行路	目標時刻	通過橋梁 または交差点	信号	イベント・沿道スポット	WC	備考
〃				下松駅		J R 阪和線軌道くぐる
〃		下轟橋				長栄会館前面道路を横断
〃		小谷原橋				パン工房ふるーる前面道路を横断
〃		上森池橋		岸和田市民病院		岸和田市民病院・五ツ星薬局前面道路を横断
〃	11:38			岸和田市民病院裏		上森池橋手前にベンチあり
〃	11:50	森池橋				国道26号 第二阪和国道 地下道くぐる
〃	11:54	額橋				
〃	11:57	八木橋				総合体育館前面道路を横断
〃	12:00 12:10	みどり橋		【休憩】 まなび中央公園	○	まなび中央公園内を通行 10分間休憩、用便勸奨（交番裏付近）
〃	12:11	大宮橋	●●●	兵主神社		忠岡野田線を横断、左岸通行
〃	12:14	兵主橋				
〃	12:18	下大宮橋				
〃	12:19	加守歩道橋				
〃	12:21	加守橋				南海本線高架（トロッコ道跡）くぐる
〃	12:26	春木橋		春木本町地車小屋		府道204号 堺阪南線を横断（信号なく危険箇所）、左岸通行
〃	12:31	六蓮橋				
〃	12:35	永守橋	●●●	春木保育所		紀州街道を横断
〃	12:40	新春木橋				左折、大阪臨海線へ 山側歩道を歩行
府道29号 大阪臨海線	12:45	臨海町交差点	●●●	野村中学校		府道29号大阪臨海線を横断、春木漁港へ
—	12:48 13:12			【ゴール前ミーティング】 春木漁港		記念撮影、海の進物受領抽選 アンケート回答勸奨、到着セレモニー説明、時間調整
府道29号 大阪臨海線	13:14	臨海町交差点	●●●	野村中学校		府道29号大阪臨海線 海側を歩行
〃	13:16	岸野町北交差点	●●●			
〃	13:17	岸野町南交差点	●●●	朝陽プール、臨海緑地		臨海緑地内で時間調整可能、ゴール前説明等
〃	13:20	並松町交差点	●●●	コーナン岸和田ベイサイド店		
〃	13:23	三叉路（無名）	●●●			
〃	13:25	北町交差点	●●●			
〃	13:27	岸和田港交差点	●●●	岸和田カンカンベイサイドモール		右折、会場へ
到着地点	13:30			【到着セレモニー】 南海浪切ホール		セレモニー登壇者はメインステージへ その他の者はメインステージ横に集まった時点で解散 【詳細は到着セレモニーシナリオ参照】